

Fly High

大志をいだけ！

国立市立国立第八小学校 研究便り

校長 牧野 陽一郎

No. 2 平成29年6月17日

国立第八小学校 研究部

『Fly High 大志をいだけ！』は、本校が進めている研究活動を保護者の皆様にご紹介するための研究便りです。研究内容や公開授業の日程、子供たちの様子等をお知らせしていきます。今回は、第1回の研究授業の様子をお知らせします。

5年生 『発芽と成長』 5月29日(月)

インゲンマメの発芽の学習から発展させて、授業を行いました。

1組はインゲンマメの成長には日光が必要であったことから他の植物も日光が必要なのだろうか、不要な植物もあるのではないかと仮説を立てました。そして、観葉植物で同じ種類の同じ背丈のものを使って、日光を当てる、照明を当てる、光を遮る、この3つの方法で検証することにしました。

2組は、インゲンマメの種子にはデンプンが含まれていたことがヨウ素液をかけた実験で分かったが、染まらなかった種子のラッカセイには何が含まれているのだろうかという問題を設定しました。観察や「〇〇〇〇油」というのがあることから、ラッカセイには油が含まれているのではないかと考え、その仮説を検証する方法を考えました。そして、インゲンマメとラッカセイをそれぞれガスバーナーで燃やす実験を行いました。燃え方の違いからラッカセイの種子には油が含まれていることが分かりました。



研究授業の見どころ

4年生『電気のはたらき』

6月19日(月) 午後1:30～

子供たちは、3年生で乾電池1個を使って回路を作り、電気を通すものを調べ、電気の伝導性について学習してきました。普段の生活の中で、乾電池を利用した物を使う機会は多く、乾電池は身近なものといえます。しかし、乾電池のつなぎ方や電流の強さに目を向けることはあまりありません。この単元では2個の乾電池はつなぎ方によって、モーターの回る速さや豆電球の明るさが変わることを学びます。

今回の研究授業では、回路の場所によって電流の強さを調べていく学習や(1組)、乾電池を3個にした時の電球の明るさを考える学習(2組)をします。この学習を通して見出した問題を興味・関心をもって追究し、電気のはたらきについての見方や考え方を養ってほしいと思います。